



2022年度版

日本代協は、
今こんな活動をして
います。



森の賢者「ふうた」

損害保険の普及と
消費者・保険契約者の利益を守るために、
損害保険代理店及び募集人の
資質向上に努めています。

日本代協ホームページ
<https://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協

検索



一般社団法人

日本損害保険代理業協会(日本代協)

損害保険大学課程 教育プログラムの運営



損害保険トータルプランナー
認定バッジ

一般社団法人日本損害保険協会（損保協会）は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「保険大学校・認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、2012年7月から展開しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関として、教育プログラムの策定・運営を行い、業界全体の募集人教育を下支えしています。

損害保険大学課程の「コンサルティン

グコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを修得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。修了・試験合格者は、損保協会認定の募集人資格の最高峰である「損害保険トータルプランナー」の称号が付与されます。

日本代協 アカデミー

顧客本位の業務運営を基軸として積極的に経営努力を重ねる代協会員の自己研鑽を支える日本代協独自の教育制度として、2019年3月より展開しています。

代協会員のニーズや要望に基づき、「教育のエビデンス」も兼ねるeラーニングを活用した「教育コンテンツ」と、映像やセミナーなどを通して「ベストプラクティスの共有」に役立つ「情報コンテンツ」を提供しています。代理店自身の年間教育・研修計画に組み入れて継続的に資質向上を図ることができる環境を提供しながら、保険代理店の世界に「学ぶ文化」を広げていくことを目指しています。

日本代協アカデミーの3つの柱

- i. 代理店経営の高度化に対応するための「組織力強化研修」メニュー
- ii. 募集人一人ひとりのレベルアップを図るための「基礎教育研修」メニュー
- iii. 収益向上のための「実践的研修」メニュー



日本代協
アカデミー
登録サポート

教育・研修活動

代理店及び募集人の 資質向上に向けて

日本代協 コンベンション

日本代協は、「全国の代協会員が集い、語らい、高め合う場」として、また、業界関係者を含めた情報交換と経験交流を行う場として、毎年11月に代協会員手作りのコンベンションを開催しています。コンベンションでは、毎年テーマを定め、1日目に功労者表彰と代協会員懇談会並びに基調講演、2日目は基調講演を掘り下げた分野毎の分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。



金子会長挨拶



功労者表彰



パネルディスカッション

代協会員向けセミナー

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに「経営マネジメント」や「改正保険業法への対応」等、本業に資する様々なセミナーを開催しています。また、総会や賀詞交歓会、記念式典等に保険会社等の業界関係者を招待し、交流を深めています。



群馬県代協 60周年記念式典
(2021年12月2日)



福岡県代協
「代協ガチ座談会 in Fukuoka」
(2021年12月7日)

*2021年度は、「これまでの10年、これからの10年を考える」をテーマに、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、3週間にわたるオンライン配信で開催しました。



式典(2021年11月5日)

「活力ある代理店制度等研究会」を開催

保険代理業を「若く優秀な人材が生き生きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、加速する環境変化に対応し、将来展望を描ける代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である

保険会社4社と、2007年度に「活力ある代理店制度等研究会（活力研）」を立ち上げ、論議を続けています。

2021年度は、「保険募集現場で代理店が納得感がないと感じる諸問題への対応策」をテーマに、年2回（7月と3月）識者の意見も踏まえながら論議を行いました。



活力ある代理店制度等研究会(2022年3月2日)



調査・研究・及び 提言活動

消費者・保険契約者の 利益を守るため

保険契約者等の 利益保護に資する 募集の公平性の維持

日本代協は、消費者の利益保護のためにはリスク分析や商品提案・説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にしていくことが重要であると考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

保険以外の他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行い、改善を求めています。

業界標準化に向けた 提言活動

自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域まで無用な競争を拡大させた場合には、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便向上、業務効率化を目的に共通化・標準化が望ましいと考えられる項目を損保協会に提言しています。

【共通化・標準化を提言する検討視点】

- ① 契約者にとっての分かりやすさ・利便性の向上（トラブル・不信、無用なロードの抑制）
- ② 代理店・募集人の業務効率化（顧客対応時間の確保、生産性向上）
- ③ 保険会社のコスト削減（保険料引き上げ抑制）
- ④ 環境変化への対応（新たな共通化・標準化領域の検討）

代理店賠償 「日本代協新プラン」を提供

日本代協は、保険契約者保護の観点から、資質向上、代理店経営品質向上に努める一方で、万一、契約者にご迷惑をかけた場合（保険業法第283条による賠償事案）の賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

2022年3月末現在 9,779店の代協会員が加入しています。



代理店賠償
『日本代協新プラン』のご案内

学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、2014年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）を提供しています。



キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)
(ひとよし防災ワクワク組：熊本県代協)

【キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
熊本県	ひとよし防災ワクワク組『ひとよし防災ワクワク組』	熊本県代協

【デジタルマップ賞】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
静岡県	いまいずみ児童クラブ『いずみっこanzen洪水チーム』	静岡県代協
愛知県	THE OBATA『THE OBATA』	愛知県代協

【佳作】

都道府県	学校名・団体名『チーム名』	紹介代協
宮城県	宮城県石巻市立鮎川小学校『鮎小3・4年生』	宮城県代協
青森県	青森県八戸市立田面木小学校『田面木安全探検隊1班』	青森県代協
	青森県八戸市立田面木小学校『田面木安全探検隊2班』	
	青森県八戸市立田面木小学校『田面木安全探検隊3班』	
	青森県八戸市立田面木小学校『田面木安全探検隊4班』	
岩手県	岩手県久慈市立久慈湊小学校『久慈湊小学校3年生』	岩手県代協
静岡県	いまいずみ児童クラブ『いずみっこanzen震災チーム』	静岡県代協
奈良県	安全見守りボーイズ『安全見守りボーイズ』	奈良県代協
鳥取県	殿ちびっこ探検隊『殿ちびっこ探検隊』	鳥取県代協
山口県	チーム園田『チーム園田』	山口県代協

2021年度 代協会員が指導し応募した184団体・282作品のうち、1作品がキッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)、2作品がデジタルマップ賞、10作品が佳作に見事入選



高校生の自動車リスクへの対応

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起した場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。

2021年度
6代協 17校 3,468名



福井県代協(2021年12月13日)



秋田県代協(2021年12月21日)

消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。



石川県代協(2021年12月3日)

2021年度は3代協で懇談会を開催

啓発・宣伝活動

損害保険に関する普及

お客さま向け情報誌「みなさまの保険情報」の発行

お客さまに常に新しい情報をお届けするためのツールとして、情報誌「みなさまの保険情報」(年4回発行)を代協会員に斡旋し、現在約5万部が利用されています。



『みなさまの保険情報』活用のご案内

メディアを活用したPR

大学での保険募集関係の講座

損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協の会長等が講義を受け持っています。

また、講師のスキルアップ・均質化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師(日本代協認定講師)の育成にも努めています。

*2021年度のスキルアップ研修は中止としたが、通算52名育成。



香川県代協(2021年6月24日)

日本代協は、消費者の皆さまに損害保険代理店並びに損害保険トータルプランナー等の活動をご理解いただくため、メディアを活用したPRを行なっています。

2021年度は、保険を選ぶ際に大切な事を分かりやすく説明したアシスト動画(1本)、誰もが知っている歴史上の人物にまつわる事象を題材にしたWEB CM動画(4本)を特設Webサイトで配信しました。

<https://nihondaikyo-2022pr.com/>
なお、現在日本代協YouTubeチャンネルでも番組を公開しています。



特設サイト

<https://www.youtube.com/channel/UCEULgRmix78mEWqug-UkBLQ>

地震保険の啓発・普及促進

日本代協は、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。

* 2021年度はコロナ禍の状況を踏まえ、会員の日常活動を通じたノベルティ配布を実施しました。



岩手県代協(2021年10月22日)

社会貢献活動



神奈川県代協
チャイルドシート寄贈
(2021年4月30日)



北海道代協
リングプル寄付
(2021年7月12日)



埼玉県代協
交通遺児への寄付
(2022年3月2日)

無保険車追放の取り組み

交通事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、毎年9月に国土交通省と共同で、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的とした「無保険車追放キャンペーン」を実施しています。

* 2021年度はコロナ禍の状況を踏まえ、地域団体・会員顧客へのノベルティ配布による啓発活動を実施しました。



広島県代協(2021年10月27日)



滋賀県代協(2021年11月10日)



宮崎県代協(2021年11月15日)

自動車等の盗難対策

日本代協は、2012年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(警察庁主管)」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、損保協会が、10月7日「トーナ(盗難)防止の日」に盗難多発地域で行っている街頭啓発活動を該当地域の代協が協力しています。



「子ども110番の保険代理店」ステッカー



地域社会貢献活動

各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでいます。

2021年度は33代協で計102回の活動

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

2021年度は3代協・3ブロックで計6回の公開講座を開催し、1,450名が参加

公開講座



愛知県代協
「気象災害から命を守るオンライン公開講座」
(2021年9月4日)



西中国ブロック
「人生100年時代の生活設計」
(2021年10月30日)

献血

交通安全



熊本県代協
「保険の月イベント」交通安全祈願
(2021年11月10日)



鹿児島県代協
献血活動
(2022年2月14日)



千葉県代協
献血活動
(2022年3月13日)



三重県代協
献血活動
(2022年3月18日)

「子ども110番の保険代理店」の全国展開

日本代協と全国47都道府県代協は、助けを求めてきた子どもを保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動を展開しています。

代協会員が警察・地域住民・学校関係者等と相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子どもたちが安全に暮らせる環境づくり」をより一層、支えていきたいと考えています。



宮崎県代協
PTA連合会との一括代理店登録調印式
(2022年3月30日)



地球環境保全活動

地域の海岸・河川、道路、公園等の清掃活動を行っています。

2021年度は20代協・1ブロックで計40回、1,180名が参加

清掃活動



鳥取県代協
中海・宍道湖一斉清掃
(2021年10月24日)



兵庫県代協
六甲山グリーンボランティア
(2021年11月6日)



やまがた代協
砂防林を育てよう
(2021年11月13日)



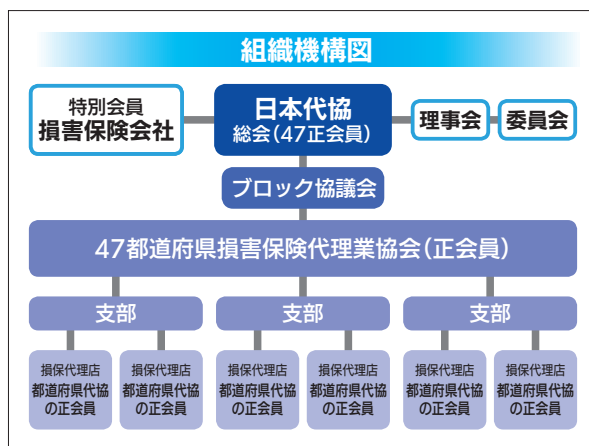
長野県代協
クリーンウォーク活動
(2021年11月17日)



茨城県代協
鹿島神宮清掃ボランティア
(2021年12月11日)

概要

- **設立**
昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行
- **目的**
都道府県損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。
 - ・ 損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
 - ・ 損害保険代理店の資質向上
 - ・ 損害保険事業の健全な発展への寄与
 - ・ 幅広く社会に貢献するための活動
- **組織**
本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。
- **代協会員(代理店)数**
11,094店(2022年3月末現在)



一般社団法人

日本損害保険代理業協会



〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル321区

TEL : 03-3201-2745 FAX : 03-3201-4639

URL : <https://www.nihondaikyo.or.jp/>